

# 村上海賊キャラクターコンテンツ力強化業務仕様書

## 1 業務の名称

村上海賊キャラクターコンテンツ力強化業務

## 2 目的

今治市が保有する村上海賊キャラクターの使用により、当該キャラクターを使用した商品の企画、開発及びグッズの展開を行うことで、キャラクターコンテンツの魅力を向上し、誘客の促進及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

## 3 契約期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

## 4 業務内容

村上海賊キャラクターのコンテンツ価値を高めるため、次の内容を基にした企画提案を行うこと。

### (1) 村上海賊キャラクター絵本の企画・開発支援

当該キャラクターのデザイナー及び今治市との打ち合わせにより、絵本制作・編集までの進行管理を受託者において行うこと。

企画内容については、次の事項を踏まえた提案とすること。

(ア) 受託者にて絵本制作のディレクションを実施すること。

(イ) デザイナーの企画提案費を製作費用に含むこと。

(ウ) 絵本は、次の規格により制作を予定するものとする。

規格及び冊数：A4サイズ、24P以内、初版1,000冊を想定

(エ) 絵本印刷及び製本費用は、当該見積金額には含まないものとする。

(オ) 出版物に関する一切の権利は、出版者に帰属するものとする。

### (2) 絵本発売促進イベントの開催

絵本を国内外へ効果的に発信していくため、首都圏において発売促進イベントを開催すること。開催時期は、キャラクターのデザイナー及び今治市との協議により、次の事項を踏まえた提案とすること。なお、令和5年秋頃を想定したスケジュールを組み込むものとする。

(ア) 受託者にて企画、プロデュースの実施を行うこと。

(イ) 首都圏会場にて2週間絵本の販売促進イベントを行うこと。

(ウ) 絵本の世界観を担保するパネル等制作を行うこと。

(エ) デザイナーのトークイベントを開催すること。

- (オ) 販売促進イベントの告知等を HP 又は SNS により発信して行うこと。
- (3) 村上海賊キャラクターLINE スタンプの企画・開発支援、販売管理  
デザイナー及び今治市との協議により、LINE スタンプ制作までの進行管理を行い、LINE スタンプの販売管理を行うこと。  
企画内容については、次の事項を踏まえた提案とすること。
- (ア) 受託者にて LINE スタンプ制作ディレクションを実施すること。
- (イ) LINE スタンプは、16 スタンプ以上の種類を想定すること。
- (ウ) LINE スタンプの販売管理方法の業務フローを提案すること。
- (エ) LINE への掲載に係る費用は、見積金額に含まないものとする。
- (オ) デザイナーへのデザイン料を製作費用に含むものとする。
- (カ) LINE スタンプの販売管理は、「(4) キャラクター商品の企画・開発、グッズ展開」による取り扱うものとする。
- (4) キャラクター商品の企画・開発、グッズ展開  
キャラクターを使用してグッズ展開していくため、次の内容を基にした企画を提案すること。
- (ア) グッズ化プロデュース、製造・販売する事業者の選定  
大都市や海外のグッズ市場へ展開できるグッズを企画・開発し、グッズを製造、販売する今治市内の事業者を選定するように努めること。
- (イ) 販売管理、ロイヤリティ徴収  
販売価格や販売方法等のディレクションを行い、受託者と販売事業者が設定したロイヤリティを売上金額から徴収し、徴収した金額の 75% を使用許諾料として今治市が指定する口座に納付すること。  
なお、ロイヤリティとして徴収した金額の 25% は、受託者の手数料とする。  
また、納付方法や受託期間等については、受託者と協議した後、別途定めるものとする。
- (5) 独自提案  
見積金額の範囲内で仕様を超え、絵本の企画・開発支援につながる提案をすること。

## 5 機密保持

- (1) 受託者は、本業務の実施時において知り得た情報の取扱いに十分留意し、他に漏洩等が行われないようにしなければならない。
- (2) 本業務の遂行に当たって、機密保全、情報公開に関わる全ての事項については委託者の指示に従うものとする。このことは、本業務が完了した後においても同様である。

## 6 提出物

以下のものを提出すること。なお、内容等詳細については、契約時に委託者と協議した上で決定する。

- (1) 絵本発売イベント企画書、実績報告書
- (2) グッズ企画書、販売管理報告書（ロイヤリティの根拠となるもの）

## 7 著作権等の取扱い

- (1) 第三者が所有するものを用いる場合には、必要な著作権等の権利処理を行うこと。
- (2) 成果物にかかる著作権は、市に帰属するものとする。当該著作権は同法第 27 条、28 条に定める権利を含む。
- (3) 受託者は、委託者に対し、著作者人格権を行使できないものとする。

## 8 留意事項等

- (1) 本業務の履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理するものとする。
- (2) この仕様に定めのない事項については、委託者及び受託者で協議の上、決定するものとする。
- (3) 受託者は関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行するものとする。
- (4) 委託者又は委託者の関係者から提供を受けた資料等は、本業務にのみ使用するものとする。ただし、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについては、この限りではない。
- (5) 本業務を遂行するための必要人員は、受託者において配置するものとする。この際、人件費、交通費、宿泊費及び食事代その他必要な費用は、特に指示がない限り、すべて契約金額に含めるものとする。
- (6) 受託者は、業務遂行に必要な主たる担当者を配置しなければならない。
- (7) 設備・機材は、特に指示がない限り、受託者が調達するものとし、その費用はすべて契約金額に含めるものとする。